

福井県がん委員会運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下 裕文							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	S60 年度 経過年数 34 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]												
[事業目的]																			
<p>第3次福井県がん対策推進計画に基づき、がん予防、がん検診、がん治療や相談支援、がん登録などの総合的ながん対策を協議するがん委員会を開催する。また、がん委員会委員を含むがん検診推進医によるがん検診の指導や効果的な受診勧奨により、がん検診受診率向上を図る。</p>																			
[事業内容]																			
<p>(1) がん委員会・部会の開催（年2回） 1,339千円</p> <p>①概要 ・平成30年3月に策定する「第3次福井県がん対策推進計画（30年～35年）」に基づき、総合的ながん対策の協議を行う場としてがん委員会および部会を開催</p> <p>・「第3次がん対策推進計画」の進捗管理を行い、新たな課題等に対し、随時協議し必要な施策を進める。</p> <p>また、平成33年には中間評価を行い、現状に沿った計画の見直し、必要な施策を協議する。</p> <p>②組織 がん委員会、予防部会、検診部会、治療・相談支援部会、登録部会</p> <p>(2) がん検診推進医研修会・推進医活動費 414千円</p> <p>・個別検診機関の医師をがん検診推進医に委嘱し、受療中の患者等に対するがん検診受診の指導およびがん検診従事者に対する効果的な受診勧奨方法等を指導・助言。推進医には、最新のがん情報を提供するための研修会を開催。</p> <p>・平成29年度から、特に受診率の低い20歳代の受診率向上を図るため、推進医による大学生を対象とした知識の普及および受診勧奨を強化。</p>																			
[受益者]						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		がん検診、たばこ対策は市町が健康増進法に基づき実施市町担当者ががん委員会・各部会の委員として参画											
[事業の評価]																			
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価											
がん委員会 2回開催（9月、3月） がん検診推進医研修会 1回（8月） がん検診推進活動 12回				○がん委員会・部会 ・H29に検診部会の統合、患者代表の追加を行い、患者の意見も反映され、より現状に沿った協議ができており、この構成のまま継続 ○がん検診推進医活動 ・H29に実施した県内大学での講義の受講生から、20歳から検診対象であることを知らなかった、受診方法を知らなかったという意見があり、今後も継続し、正しい知識の普及および受診率向上を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額								
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了									
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他									

福井県がん委員会運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	S60 年度 経過年数 34 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,753	207			1,546		疾病予防対策事業費等補助金							
(単位：千円)														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		2,213	2,215	1,773	1,783	1,753								
2月現計予算額の推移		2,213	2,215	1,773	1,783									
決算額の推移		1,609	1,720	1,268										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	がん検診受診率	(目標) 実績	(47.3%) 47.3%	(48.5%) 49.7%	(50.0%) 50.2%	(50.0%超) (50.0%超)	第3次福井県がん対策推進計画(H30~35) がん検診受診率 各がん種ごと50%超							
活動指標	がん委員会開催	(目標) 実績	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2								
他県の状況	健康診査管理指導等事業実施のための指針に基づく生活習慣病健診等管理指導協議会として設置					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

働く女性のための休日がん検診推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文			
事業主体	県、市町、個別検診機関				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第3次福井県がん対推進計画]							
[事業目的]														
平日は仕事や育児などで忙しい女性に対し、土日祝日に女性のがん検診を実施することにより、働く女性のがん検診受診促進を図り、受診率の向上を目指す。														
[事業内容]														
○休日検診「休日レディースがん検診」の実施														
①市町（各市町が年1回ずつ集団検診を追加実施） 計年17回														
②個別検診機関（休日検診日を設置） 子宮頸がん検診機関 29機関、乳がん検診機関 19機関														
○休日検診の広報 県は、市町や個別検診機関、健康福祉センターと協働し、休日検診「休日レディースがん検診」の広報を行う。														
[受益者]						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		市町は、通常の集団検診に加え、年1回以上の休日集団検診を実施 県と市町が協働して住民への周知、受診勧奨を行う。						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価						
活動指標は達成 メディアと連携した広報や企業への直接の勧奨にて、H28受診者は 5,096人と目標の5,000人を達成				・特に女性の子宮頸、乳がん検診は個別検診の需要が高いため、県医師会および県産婦人科医連合会の協力を得て、休日および平日夕方での検診を継続 ・集団検診は同時に胃がん検診等が受診できることで需要があるため市町集団検診に集約し、子宮、乳に併せ5つのがん検診を休日に実施することで利便性を高め、受診者拡充を図る。広域検診は中止する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

働く女性のための休日がん検診推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文					
事業主体	県、市町、個別検診機関				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	146	73				73	疾病予防対策事業費等補助金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移		254	146	146	146	146										
2月現計予算額の推移		254	146	146	146											
決算額の推移		254	146	146												
前年度までの 主な増減理由	26年度は、休日レディースがん検診を周知するための幟旗を作成															
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	子宮頸がん検診受診者数	(目標) (5,000)	(5,000)	(5,000)	(5,000)	(5,000)										
	乳がん検診受診者数	実績 4,148	4,831	5,096												
活動指標	集団検診回数	(目標) (29)	(29)	(29)	(29)	(7)	子宮頸がん検診は特に医療機関での個別検診希望者が多いため、集団検診としては、他のがん検診も同時に受診できる点で需要が高い市町集団検診に集約し、広域集団検診は29年度で終了									
		実績 29	29	32												
他県の状況						関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

ピロリ菌等検査支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文			
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度		
事業実施方法	補助													
補助率	県1/2、市町1/2													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]							
[事業目的]														
<p>胃がんは、罹患率が男性1位、女性3位と高く、胃がんの防止対策として早い段階での1次予防が不可欠である（国の第3次計画でも強化するよう記載されている）。さらに、県内の有識者からもがんの1次予防の必要性を求められているため、ピロリ菌等の検査を促進する。</p>														
[事業内容]														
<p>1. 特定健診等において、血液による胃がんリスク検査（ピロリ菌抗体検査・ペプシノゲン検査）を実施する市町に対し、検査費の一部を助成 ①補助単価：検診費 3,000円（上限） ②補助率：県1/2、市町1/2 ③補助人数：新規8,000人（20～69歳）</p> <p>2. 受診勧奨案内通知にかかる費用を助成</p> <p>3. 血液による胃がんリスク検査で陽性となった者に対し、精検受診案内通知にかかる費用を助成</p>														
[受益者] 20歳以上69歳以下の市町特定健診等での胃がんリスク血液検査受診者						[想定される受益者数] 8,000人								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		市町が特定健診での胃がんリスク血液検査を実施						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価						
10市町で実施 受診者に対し、胃がん検診の受診勧奨、動機づけができています。				<ul style="list-style-type: none"> ・ピロリ菌等検査対象者の拡大（20～69歳男女） ・20～39歳男性に対する勧奨の追加 ・陽性者に対する精検受診勧奨と追跡調査の追加 				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ピロリ菌等検査支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	市町					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	補助												
補助率	県1/2、市町1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	15,032					15,032							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		-	7,662	7,662	7,662	15,032	「40歳職域低料金がん検診事業」を廃止し、職域での胃がんリスク血液検査を追加したことによる予算額増。 また、勧奨通知・精検受診案内通知にかかる費用を追加したことによる予算額増。						
2月現計予算額の推移		-	4,002	4,662	4,662								
決算額の推移		-	1,524	4,091									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	受診者数	(目標) —	(5,000)	(5,000)	(5,000)	(8,000)	{ (20~69歳対象者) - (平成26~28年度実施者) } × 検査率						
		実績 —	2,700	4,045									
活動指標	実施する市町	(目標) —	(7)	(17)	(17)	(17)	※小浜市は、平成26年度から自主財源で実施						
		実績 —	7	11	10								
他県の状況	石川県 (県の補助は実施はしていないが、各市町村で実施) 富山県 (") 京都府 (H27~府が市町に補助) 和歌山県 (H26~県が市町に補助) 佐賀県 (H28~県が全額負担し、中学生対象に実施)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

がん検診受診者拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文			
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度		
事業実施方法	補助													
補助率	国1/4、県1/4、市町1/2													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]							
[事業目的]														
がんの早期発見・早期治療のため、市町が行う効果的な受診勧奨を支援し、がん検診受診率および精密検査受診率の更なる向上を図る。														
[事業内容]														
○受診意向調査【新規】 受診意向調査を実施する市町に対し、意向調査にかかる経費（印刷製本費・通信運搬費）を補助														
○がん検診受診意向調査後、啓発案内を通知【新規】 意向調査後、対象者に対する啓発にかかる経費（印刷製本費）を補助														
○受診券の作成・発送【継続】 受診券の作成・発送にかかる経費（印刷製本費・通信運搬費）を補助														
○要精検対象者に対する啓発案内通知【新規】 対象者に対する啓発案内通知にかかる経費（印刷製本費・通信運搬費）を補助														
[受益者] がん検診受診希望者						[想定される受益者数] 約39万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況	市町が実施主体の事業であり、更なる受診率向上のため、県が所要の補助を行っている。							
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価						
市町の受診券発行の拡大とともに、市町のがん検診受診率も着実に向上している。				・がん検診対象者のうち前年度未受診者に対する意向調査の実施 ・意向調査後、個々に応じたタイプ別の啓発 ・要精検者に対する啓発案内通知				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

がん検診受診者拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	市町					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	補助								<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	国1/4、県1/4、市町1/2								<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	35,011	17,329				17,682		感染症予防事業費等国庫（負担）補助金					
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		11,838	12,909	12,719	12,728	35,011	受診意向調査、タイプ別啓発資材作成および要精検者への啓発通知にかかる経費等を追加したことによる予算額増。						
2月現計予算額の推移		11,838	9,957	11,056	10,972								
決算額の推移		7,193	9,358	10,212									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	がん検診受診率 (70歳未満)	(目標) (47.3%) 実績 47.3%	(48.5%) 49.5%	(50.0%) 50.9%	(50.0%超)	(50.0%超)	第3次福井県がん対策推進計画 (H30~35) がん検診受診率 各がん種ごと50%超						
活動指標	受診券発行数	(目標) (311,507) 実績 231,548	(339,724) 286,011	(324,222) 321,019	(278,565)	(314,949)	受診券発行対象者数は前々年度実績より算出						
他県の状況	なし					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

市町がん検診受診率アップ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下裕文		
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	補助													
補助率	県1/2、市町1/2													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]							
[事業目的]														
市町のがん検診受診者増の取組みを促進するため、増加分に応じた補助を行い、積極的に受診率向上を図る市町を支援する。														
[事業内容]														
市町が実施する対策型がん検診において、従前より受診者を増やした場合、受診経費の一部を補助する。 なお、平成26～29年度までの4年間は働く女性のがん検診強化期間として、子宮・乳に対し支援を強化していたが、期間終了に伴い、平成30年度からは他の がんと同様の扱いとする。														
[受益者] 5がん（胃、肺、大腸、子宮、乳）検診対象者						[想定される受益者数] 約124万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		市町が実施主体の事業であり、更なる受診率向上のため、県が 所要の補助を行っている。							
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
受診券発行枚数の増加や休日レディースがん検診の実施により、市 町検診を含め、着実に受診率が向上している。			・子宮・乳がんの補助対象基準年度を平成25年度から前年 度に変更 ・子宮・乳がんの個別検診補助単価を変更				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

市町がん検診受診率アップ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	市町					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	補助												
補助率	県1/2、市町1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,606				2,606								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		7,884	17,704	19,851	22,710	2,606	子宮・乳がんの支援内容を他のがん種と同様に見直し（基準年度を前年度に統一）。						
2月現計予算額の推移		7,884	24,656	21,081	22,710								
決算額の推移		7,884	24,656	20,863									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	がん検診受診率 (70歳未満)	(目標) (47.3%) 実績 47.3%	(48.5%) 49.5%	(50.0%) 50.9%	(50.0%超)	(50.0%超)	第3次福井県がん対策推進計画（H30～35） がん検診受診率 各がん種ごと50%超						
活動指標		(目標)											
他県の状況		なし				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

元気長生きがん予防推進事業（普及啓発事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下裕文			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H15 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]								
[事業目的]															
がん検診の意義と内容について啓発し、1人でも多くの県民ががん検診を受けるようにする。															
[事業内容]															
<p>(1) がん検診記念日キャンペーン 子宮の日（4月9日）、母の日（5月）、父の日（6月）などの記念日にショッピングセンター等でキャンペーンを実施</p> <p>(2) マスメディアキャンペーン 市町の検診がスタートする時期にテレビスポットを放映し、がん検診の重要性を広く県民に啓発</p> <p>(3) がん検診受診勧奨パンフレット作成 がん征圧月間（9月）、がん検診集中キャンペーン（10月）等の機会を活用して、がん検診の種類、内容、受診方法等を啓発するパンフレットを作成</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況										
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
従来のショッピングセンター等での普及啓発活動に加え、保険会社や協会けんぽのイベントに参加し、普及機会を拡充するとともに、テレビや情報誌等でPRすることにより、がん検診受診率の着実な向上を図った。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

元気長生きがん予防推進事業（普及啓発事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H15 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	—											16 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,026	513			513	感染症予防事業費等国庫（負担）補助金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		2,207	1,728	1,080	1,080	1,026								
2月現計予算額の推移		2,207	1,728	1,080	1,080									
決算額の推移		1,881	1,709	1,018										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	がん検診受診率 (70歳未満)	(目標) (47.3%) 実績 47.3%	(48.5%) 49.5%	(50.0%) 50.9%	(50.0%超)	(50.0%超)	第3次福井県がん対策推進計画（H30～35） がん検診受診率 各がん種ごと50%超							
活動指標	イベント等での普及活動	(目標) — 実績 8	— 14	— 20	—	—								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）						

がん診療連携拠点病院機能強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文	
事業主体	がん診療連携拠点病院				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国1/2、県1/2											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]					
[事業目的]												
地域のがん医療を中核的に担うがん診療連携拠点病院が行う病院機能強化に必要な経費を国とともに助成し、居住する地域に関わらず質の高いがん医療を等しく受けられる体制を整備する。												
[事業内容]												
【がん診療連携拠点病院機能強化事業】 国の「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」に基づき、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、福井県済生会病院、福井赤十字病院、国立病院機構敦賀医療センターを「がん診療連携拠点病院」として指定。(平成18年度) これらの病院のうち、福井県立病院、福井県済生会病院、福井赤十字病院に対し、がん医療従事者研修、相談支援等の事業に要する経費に対する補助を実施。												
[受益者] 県内のがん患者						[想定される受益者数] 約12,000人(平成28年がん診療連携拠点病院現況報告)						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		なし				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
医療従事者に対する研修会の開催、就労支援を含めたがん相談支援事業の実施により、拠点病院に必要な機能強化に寄与している。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

がん診療連携拠点病院機能強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	がん診療連携拠点病院					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	補助												
補助率	国1/2、県1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	43,899	21,949				21,950	感染症予防事業費等国庫（負担）補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		50,764	50,778	44,102	43,900	43,899							
2月現計予算額の推移		49,619	40,660	44,102	43,900								
決算額の推移		46,697	35,972	43,302									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	相談件数 (目標)	(6,800)	(6,800)	(6,800)	(6,800)	(6,800)	実施計画書を基に目標件数を算出						
	実績	6,787	6,192	6,756									
活動指標	がん医療従事者研修開催数 (目標)	(12)	(14)	(14)	(15)	(15)	実施計画書を基に目標件数を算出						
	実績	40	33	39									
他県の状況	国の交付要綱に従い、各がん診療連携拠点病院に対して補助を実施					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

がん専門医育成・医師派遣体制構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文			
事業主体	福井大学医学部附属病院				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	寄附													
補助率	-													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]							
[事業目的]														
がんの診断・治療に欠かせない「病理専門医」、「がん薬物療法専門医」、「放射線治療専門医」は全国的にも本県においても不足していることから、県内におけるがん専門医の育成・確保を図る。														
[事業内容]														
①福井大学医学部に寄附講座「がん専門医育成推進講座」を設置し、がん専門医を育成する。また、がん診療連携拠点病院間で連携し、合同研修会や症例検討会の開催など育成環境を整備する。 ②育成後に、がん専門医が不足する県内のがん診療連携拠点病院等へ派遣する。														
[受益者] がん専門医を目指す医師						[想定される受益者数] 14人								
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 がん専門医育成推進事業 (実績) 県内の3分野の専門医が分野ごとに、専門医を目指す医師を確保するための取組みの検討や合同シンポジウムの開催、育成プログラムの作成、人的ネットワークを構築				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
講座参加者 11人 内、専門医資格取得者 1人			夏休みを利用した病院見学や実習が県内専門医と直接関わることで、より各分野への意向が高まるため継続する。県内専門医が同行して各学会やセミナーに参加させ、最新情報や他県の状況、他病院医師との交流を深めることで関心を高め講座への参加を促す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

がん専門医育成・医師派遣体制構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文		
事業主体	福井大学医学部附属病院					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	寄附												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	19,475			19,475		地域医療介護総合確保基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		-	19,475	19,475	19,475	19,475							
2月現計予算額の推移		-	19,475	19,475	19,475								
決算額の推移		-	19,475	19,475									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	資格取得医師数	(目標)	-	(1)	(1)	(1)	がん専門医を5年間(平成31年度まで)で5人育成						
		実績	-	1	1								
活動指標	講座参加医師数	(目標)	-	(5)	(8)	(8)							
		実績	-	7	11								
他県の状況	無し	関連事業の有無・ 役割分担				<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

がん患者相談支援推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文	
事業主体	県看護協会、がんの子どもを守る会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]					
[事業目的]												
がん患者や家族等の治療等への不安を軽減するために、身近な地域の中で気軽に相談できる窓口や患者サロンを開設する。また、がん治療体験者の立場からがん患者等を支援するピアサポート研修、小児がん患者や家族の支援を実施する。												
[事業内容]												
①がん患者まちなか総合相談窓口の開設 地域の中に気軽に相談ができる窓口の開設												
②がん患者サロンの開設 地域の中にがん患者等が悩みや体験を共有し、互いに支え合うサロンの開設、出張相談・サロンの実施												
③がん患者ピアサポート研修の実施 がん治療体験者が、その経験を生かした相談支援活動（ピアサポート）を行うために必要ながんの知識や実際の相談対応技術等を習得する研修を実施												
④小児がん患者・家族の支援 小児がん患者が遊び等を通して安心して治療に臨めるよう支援するとともに兄弟や保護者等に対してもサロンや個別相談を実施												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		市町と連携し、事業の周知を図っている。 また、拠点病院のない地域では、出張相談・サロンを実施。				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
小児がんを含めたがん患者やその家族等の治療等への不安を軽減している。				これまでのがん患者を中心とした相談・サロンだけでなく、特に多様な課題を抱え、体験者同志の支え合いが必要なAYA世代や遺族に対し、気軽に集える場を新設する。 小児がん・家族への支援として、さらに患児の兄弟や保護者に対し、遊びの提供やサロン、個別相談支援を行う。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

がん患者相談支援推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文					
事業主体	県看護協会、がんの子どもを守る会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度		
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	1,906	953			953	疾病予防対策事業費等補助金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移		2,222	2,222	2,083	2,083	1,906										
2月現計予算額の推移		2,222	2,222	2,083	2,083											
決算額の推移		1,795	2,187	2,033												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	各サロンで支援した人数 (目標) 実績	— —	— —	— —	(54) —		1回、参加者6人×9回 (H28までの実績：1回6人)									
活動指標	サロンの開催回数 (目標) 実績	— —	— —	— —	(9) —											
他県の状況	石川県（平成25年6月 がん安心生活サポートハウス開設） 富山県（平成25年9月 がん総合相談支援センター開設） その他、23都道府県でも拠点病院以外のがんに関する相談窓口を設置				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）									

がん検診受診実態調査

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下裕文		
事業主体	県医師会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	委託													
補助率	—													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]							
[事業目的]														
<p>県民のがん検診受診実態を明らかにするため、県内医療機関等における主要がん検診（胃、肺、大腸、乳、子宮がん、その他の新たながん検診）受診状況調査を実施する。</p>														
[事業内容]														
<p>県内各医療機関および検診機関において実施している主要がん検診の受診者数調査を実施する。</p> <p>(1) 調査方法 委託先：福井県医師会 ①がん検診実施の医療機関および検診機関においてカルテ等からデータを抽出し、各がん検診受診者数を集計、結果を医師会へ報告 ②福井県医師会で、各医療機関および検診機関からの報告を集計、結果を県へ報告</p> <p>(2) 調査内容 胃がん (50歳以上 男性・女性) 肺、大腸がん (40歳以上 男性・女性) 乳がん (40歳以上 女性) 子宮がん (20歳以上 女性) その他の新たながん検診 (40歳以上 男性・女性) についての男女別・年代別受診者数</p> <p>(3) 調査対象年度 平成29年度 (4) 調査時期 平成30年6月</p>														
[受益者] 県民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
平成28年度の職域におけるがん検診の実施状況について、県内全がん検診実施機関に対して調査を実施 年度当初に速やかに受診率の算定ができるよう委託先と調整し、期日内に100%の調査結果の回収ができています。							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

がん検診受診実態調査

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文			
事業主体	県医師会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,500				1,500									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500								
2月現計予算額の推移		1,500	1,500	1,500	1,500									
決算額の推移		1,500	1,500	1,500										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績						速やかに受診率の算定ができるよう、期日内に100%の調査結果を回収							
活動指標	調査回数 (目標) 実績	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1)	(1)								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

がん対策推進計画改定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営			事業 経過 年数					2 年			
補助率	-											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]		関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]							
[事業目的]												
平成30年3月に策定した第3次「福井県がん対策推進計画」の冊子を作成し、関係機関および患者会に配布する。												
[事業内容]												
第3次「福井県がん対策推進計画」の冊子の印刷、配布												
[受益者] がん対策に携わる関係者およびがん患者						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		策定委員会委員に市町代表として参加 市町が取り組んでいる好事例を計画に記載し紹介				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
・福井県がん対策推進計画策定委員会開催 6/30、8/22、12/25 「第3次福井県がん対策推進計画」策定								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

がん対策推進計画改定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	県					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H29 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	739					739							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		—	—	—	493	739							
2月現計予算額の推移		—	—	—	493								
決算額の推移		—	—	—									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	県民にがんについて正しい理解の普及を図るため健康教室等で計画概要版を配布	—	—	—	—	(2,000)							
	(目標)												
	実績	—	—	—	—								
活動指標	県のがん対策の推進に関する関係機関に県の計画を配布	—	—	—	—	(400)							
	(目標)												
	実績	—	—	—	—								
他県の状況	全都道府県で各がん対策推進計画策定					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

がん患者アピアランスサポート事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下 裕文			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H32 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会]		政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]		関連する県の計画等		[第3次福井県がん対策推進計画]								
[事業目的]															
がん治療による副作用等で起こる容姿の変化に悩むがん患者は数少なくない。治療による容姿の変化を補い、就労や社会参加を応援するため、医療用ウィッグ（かつら）や補整下着等の購入費を補助し、がん患者の心理的負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図る。															
[事業内容]															
がん治療に伴う脱毛等により補整具（ウィッグ・補整下着等）が必要ながん患者の補整具購入経費を1回に限り補助															
① 対象者：福井県内に住所を有する方で、がんと診断され、その治療を行っている方															
② 補助対象：平成30年4月1日から31年3月31日までに購入した補整具															
③ 補助金額：ウィッグや補整下着等の購入経費（上限10,000円）															
④ 必要な書類：がん治療を受けていることを証する書類（診療明細書、お薬手帳等） 補整具を購入したことを証する書類（領収書等）															
[受益者] がん治療による容姿の変化に悩むがん患者						[想定される受益者数] 500人									
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		—							
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
—			—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

がん患者アピアランスサポート事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,033					5,033							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移	—	—	—	—	5,033	—							
2月現計予算額の推移	—	—	—	—	—								
決算額の推移	—	—	—	—	—								
前年度までの 主な増減理由	—												
[成果指標等の推移]													
区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	当事業の利用者 (目標)	—	—	—	—	(500)							
	実績	—	—	—	—	—							
活動指標	治療による容姿の変化に 悩むがん患者への周知人数 (目標)	—	—	—	—	(1,000)							
	実績	—	—	—	—	—							
他県の状況	山形県 ウィッグに限定した購入費助成事業を実施 (H26～) 鳥取県 ウィッグと乳房補整具の購入費補助事業を実施 (H28～) 秋田県 ウィッグと乳房補整具の購入費補助事業を実施 (H29～)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

ふくい健康会議運営事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下裕文			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第4次元気な福井の健康づくり応援計画]								
[事業目的]															
県内の全保険者（加入者の健診、重症化予防及び医療給付等を行う）と保健・医療関係団体、関係機関が一堂に会し、医療費適正化と健康寿命の延伸に向けた具体策についての合意形成とオール福井で取り組む結束力を高めるため、会議を設置する。															
[事業内容]															
<p>(1) 医療費、健康寿命、保険者努力支援制度※1の項目等を評価指標とし、各保険者のデータヘルス計画※2の進捗を管理</p> <p>(2) 保険者協議会による医療費分析（重症者数、重複受診者数、後発医薬品の利用率等）や健診受診行動の分析に基づく課題を共有し、保健・医療関係団体等と対策と施策を協議</p> <p>(3) 模範的な健康経営（健康づくり）を行う事業所や市町国保等の表彰（31年度以降）</p> <p>※1 保険者努力支援制度：特定健診受診率やがん検診受診率など12項目の実施状況を点数評価し、得点に応じた交付金を得るインセンティブのしくみ（H30～）</p> <p>※2 レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

ふくい健康会議運営事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H32 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	94				94											
[予算額の推移等]													(単位：千円)			
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移		-	-	-	-	94										
2月現計予算額の推移		-	-	-	-											
決算額の推移		-	-	-	-											
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	特定健診受診率(%)	(目標) -	(目標) -	(51.9)	(54.9)	(57.9)	34年度までに70%を目指す									
		実績 49.1	実績 48.9													
活動指標	会議の開催(回数)	(目標) -	(目標) -	-	-	(1)										
		実績 -	実績 -	-	-											
他県の状況						関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

わがまち健康づくり応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文	
事業主体	県、各市町、県ウォーキング協会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営、補助								事業 経過 年数	4 年		
補助率	1/2、定額											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第4次元気な福井の健康づくり応援計画]					
[事業目的]												
平成30年国体に向け、市町の健康づくりに対する支援を行い、わがまち健康推進員の活動の活性化を図るとともに、健康な食事の普及による食生活の改善や冬場の運動機会の確保を推進し、県民の健康づくり環境を整備する。												
[事業内容]												
<p>(1) 「一市町一健康づくり」の推進 (17,000千円) 各市町が各々の健康課題解決に向け取り組む健康づくり施策に対して県が補助 対象事業 平成27・28年度・29年度健康づくり事業の拡充 補助率 2分の1 事業費 2,000千円</p> <p>(2) わがまち健康推進員研究大会の開催 (1,061千円) 市町の事業展開の実行部隊としての資質向上、推進員としての意識喚起を図る。 概要 各市町の活動状況の発表や先進事例の紹介、有識者の講演等を開催 時期 11月もしくは12月</p> <p>(3) 冬場の運動機会の確保 (1,132千円) ・冬場にショッピングセンターや商店街等と連携して実施するウォーキングイベントの開催を支援 (5万円/1回、年10回) ・ラジオ体操インストラクターを団体に派遣し、正しいラジオ体操の講習を実施 ・「みんラジ」(みんなでラジオ体操)推進隊の登録推進</p>												
[受益者] 県民						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		・市町はウォーキングイベントの広報等に協力				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
(3) 冬場の運動機会の確保 ・冬場のウォーキングイベントを9回開催し、826人参加 (1回は大雪のため中止) ・ラジオ体操インストラクター派遣事業を30回開催し、 1,028人が受講 ・「みんラジ」(みんなでラジオ体操)推進隊に22事業所 が登録				食と健康に係る事業については、さらに年齢、健康状態に あわせた支援ができるよう、新規事業に別途計上				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

わがまち健康づくり応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	県、各市町、県ウォーキング協会					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	1/2、定額												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	19,193					19,193							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移			13,448	21,740	21,689	19,193							
2月現計予算額の推移			13,448	21,740	21,554								
決算額の推移			8,865	18,177									
前年度までの 主な増減理由	平成30年国体に向けた健康づくり機運の盛り上げりを向上させるため、平成28年度に市町への補助を拡充し、「国体記念・17のまちを結ぶ徒歩大会」の開催や冬場の運動機会の確保など市町の健康づくり事業を強化させた。												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	一市町一健康づくり	(目標) —	(5市町)	(8市町)	(13市町)	(17市町)	独自の健康づくりをしている市町						
		実績 —	5市町	17市町	17市町								
活動指標	わがまち健康推進員	(目標) —	(2,700)	(3,300)	(3,600)	(4,000)							
		実績 —	3,146	3,620	4,207								
	冬場のウォーキングイベント実施回数	(目標) —	(10)	(10)	(10)								
		実績 —	10	9									
他県の状況	<p>○市町の健康づくり支援 長野県：保健指導員制度 全市町村において組織され、昭和60年から県協議会を設置し、活動。</p> <p>○冬場の運動機会の確保 富山県：商店街やショッピングモールのウォーキングマップ作成等 青森県：モールウォーキングレッスン開催等</p>					関連事業の有無・ 役割分担		<p>■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)</p>					

ふくい健幸美食 Next stage

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文																		
事業主体	県、(公社) 福井県栄養士会、福井県食生活改善推進員連絡協議会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H32 年度																			
事業実施方法	直営、委託																												
補助率	—																												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第4次元元気な福井の健康づくり応援計画]																						
[事業目的] 県民の適切な食生活を応援するため、県内の食品事業者と本県の健康課題を共有し、事業者自らが行う健康づくり活動を促進する。また、メタボ対策として主に働き世代をターゲットとする「ふくい健幸美食」を応用し、高齢世代のフレイルや若い女性のやせ等、世代ごとの課題にも対応できる献立を考案し、普及することで、食環境の一層の充実を図る。併せて、働き世代に対し、生活習慣の改善に向けたアプローチを行う。																													
[事業内容] (1) 従来からの「ふくい健幸美食(メタボ対策)」の継続(547千円) 通年販売可能な「ふくい健幸美食」に対し、認証証を交付し、メニューの普及を行う。 (2) こんにちは従業員さん事業(782千円)(県食生活改善推進員連絡協議会委託) 食生活改善推進員が事業所に訪問し、従業員に対し、減塩や肥満・やせ等の健康に対する正しい知識を普及し、生活習慣の改善につなげる。 (3) 「ふくい健幸美食GOLD(やせ・フレイル対策)」の開発((2)と(3)で722千円)(県栄養士会委託) 高齢世代のフレイルや若い女性のやせ等の改善のため、たんぱく質やカルシウム、鉄分の摂取に配慮したモデルメニューの開発と食品事業者を対象としたメニュー発表会を開催する。 (4) 「ふくい健幸美食GOLD」推進協議会の開催(県栄養士会委託) 食品事業者で構成する協議会を立ち上げ、「ふくい健幸美食GOLD」の普及、販売に向けた協議を行う。																													
[受益者] 食品事業者						[想定される受益者数]																							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (実績) 「ふくい健幸美食」提供店舗数は290店舗となり年々増加した。					市町との連携状況																							
[事業の評価] <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">前年度の実績</th> <th style="width: 33%;">実績を踏まえた30年度の変更点</th> <th colspan="4" style="width: 34%;">事業評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> 「ふくい健幸美食」提供店舗数300の活動指標は達成できなかったが、提供店舗数は年々増加した。また、食生活改善推進員による事業所訪問を通じて、2年間で約3,700人に減塩の啓発を行った。これらの取り組みにより、塩分摂取量が(H24)10.7g→(H28)9.7gに減少するなど、減塩対策の成果がみられた。 </td> <td rowspan="3"> 「ふくい健幸美食」の基準を満たし、かつ通年販売が可能なメニューのみを認証し、引き続き認証メニューの普及を行う。また、メタボ対策として主に働き世代をターゲットとしていた「ふくい健幸美食」を応用し、新たに、高齢世代のフレイルや若い女性のやせ等、世代ごとの課題にも対応できる「ふくい健幸美食GOLD」を考案し、普及を行う。 </td> <td><input type="checkbox"/> 拡充</td> <td><input type="checkbox"/> 縮減</td> <td><input type="checkbox"/> 終期の見直し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">見直し額</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 完了</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 整理統合</td> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> その他</td> </tr> </tbody> </table>												前年度の実績	実績を踏まえた30年度の変更点	事業評価				「ふくい健幸美食」提供店舗数300の活動指標は達成できなかったが、提供店舗数は年々増加した。また、食生活改善推進員による事業所訪問を通じて、2年間で約3,700人に減塩の啓発を行った。これらの取り組みにより、塩分摂取量が(H24)10.7g→(H28)9.7gに減少するなど、減塩対策の成果がみられた。	「ふくい健幸美食」の基準を満たし、かつ通年販売が可能なメニューのみを認証し、引き続き認証メニューの普及を行う。また、メタボ対策として主に働き世代をターゲットとしていた「ふくい健幸美食」を応用し、新たに、高齢世代のフレイルや若い女性のやせ等、世代ごとの課題にも対応できる「ふくい健幸美食GOLD」を考案し、普及を行う。	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他
前年度の実績	実績を踏まえた30年度の変更点	事業評価																											
「ふくい健幸美食」提供店舗数300の活動指標は達成できなかったが、提供店舗数は年々増加した。また、食生活改善推進員による事業所訪問を通じて、2年間で約3,700人に減塩の啓発を行った。これらの取り組みにより、塩分摂取量が(H24)10.7g→(H28)9.7gに減少するなど、減塩対策の成果がみられた。	「ふくい健幸美食」の基準を満たし、かつ通年販売が可能なメニューのみを認証し、引き続き認証メニューの普及を行う。また、メタボ対策として主に働き世代をターゲットとしていた「ふくい健幸美食」を応用し、新たに、高齢世代のフレイルや若い女性のやせ等、世代ごとの課題にも対応できる「ふくい健幸美食GOLD」を考案し、普及を行う。	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額																								
		<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了																									
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他																									

ふくい健幸美食 Next stage

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文					
事業主体	県、(公社)福井県栄養士会、福井県食生活改善推進員連絡協議会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度		
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	2,052	1,026			1,026	感染症予防事業費等国庫負担(補助)金										
[予算額の推移等]												(単位:千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移		-	-	-	-	2,052	「ふくい健幸美食」の基準を満たし、かつ通年販売が可能なメニューのみを認証し、引き続き認証メニューの普及を行う。また、メタボ対策として主に働き世代をターゲットとしていた「ふくい健幸美食」を応用し、新たに、高齢世代のフレイルや若い女性のやせ等、世代ごとの課題にも対応できる「ふくい健幸美食GOLD」を考案し、普及を行う。									
2月現計予算額の推移		-	-	-	-											
決算額の推移		-	-	-	-											
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	食環境の改善(野菜や塩分 摂取量等)に賛同する食品 事業者数	(目標)	-	-	-	-	5年間(2022年まで)で1,000事業者を目標とする									
		実績	-	-	-	-										
活動指標	ふくい健幸美食提供店舗 数	(目標)	-	-	-	(360)										
		実績	206	224	252	290										
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

いつでもどこでも誰でも「FUKUI × WALK project」

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下裕文		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	委託													
補助率	-													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第4次元気な福井の健康づくり応援計画]							
[事業目的] 誰にでも手軽に始めることができるウォーキングを県民に呼びかけることで、本県の運動不足を改善するとともに、県民のスポーツ活動時間が増えることによる幸福度の向上を図る														
[事業内容] ○スポーツ庁との連携事業 スポーツ庁による「FUN + WALK PROJECT」の開始に合わせ、スポーツ庁長官とのウォーキング大会を開催する。 ・スニーカーBiz実践事業所や協会けんぽの健康づくり実践事業所から、歩数を増やす工夫やアイデアを募集し、スポーツ庁長官とのウォーキング大会のコースを作成 ・作成したコースをスポーツ庁長官とウォーキング ・ビジネスシーンにあわせやすい靴（コーディネート）の紹介もあわせて行う。（例：西武福井、AOKI等） ・イベントで使用したコースをスニーカーBizコースの一例として県HP等で公開する。														
[受益者] 県民すべて						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい女性ヘルスアップ事業 (実績) スニーカーBiz実践事業所：219事業所					市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

いつでもどこでも誰でも「FUKUI × WALK project」

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文	
事業主体	県					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)
事業実施方法	委託										H31 年度	
補助率	-										経過年数 1 年	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,927				1,927							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移	-	-	-	-	1,927							
2月現計予算額の推移	-	-	-	-								
決算額の推移	-	-	-	-								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	スニーカーBiz実践事業所 (目標)	-	-	-	-	(300)						
	実績	-	-	-	-							
活動指標	チラシ配布数 (目標)	-	-	-	-	(2,500)						
	実績	-	-	-	-							
他県の状況						関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

子どもの目の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下 裕文
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H24 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度	H34 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]		関連する県の計画等		[第4次元気な福井の健康づくり応援計画]							
[事業目的]												
子どもの近視の進行については遺伝的な要因に加え、勉強時間・屋外活動時間等の環境的な要因も関連しているため、保護者や保育園・幼稚園等への啓発を行い、目の健康に優しい生活習慣の定着を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 保護者に対する指導 (H24～) 186千円 保護者向け小冊子を作成して、市町を通じ乳児の健診の機会等に配布し、子どもの目に優しい生活習慣について指導する。</p> <p>(2) 保育所・幼稚園での目のリフレッシュタイムの推進 (H25～) (ゼロ予算) 保育所・幼稚園に対し、目に優しい「目のリフレッシュタイム」の実施を指導する。</p>												
[受益者] 5歳以下の子ども						[想定される受益者数] 約37,000人 ※平成30年1月1日時点の5歳以下推計人口(36,579人)より						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
裸眼視力1.0未満の割合は、小学生は増加、中学生は減少 小学生 H27 31.3%→H28 32.0% (+0.7%) 中学生 H27 58.7%→H28 58.1% (△0.6%)								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

子どもの目の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度		
事業実施方法	直営								□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	186				186											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移		695	605	191	191	186	出生数の減少に伴い、対象人数を変更									
2月現計予算額の推移		695	605	191	191											
決算額の推移		497	288	115												
前年度までの 主な増減理由	既存子育て世帯への配布が完了したため、平成28年度からは新規世帯（出生数相当）の部数のみに削減															
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	「目のリフレッシュタイム」 実施施設数	(目標)	—	—	—	—	実施施設数の増加を目標とする									
		実績	161	207	185	183										
活動指標	保護者への指導	(目標)	(14,000人)	(14,000人)	(6,500人)	(6,500人)	(6,300人)	出生数に基づき、全ての子育て世帯へ配布								
		実績	15,000人	15,000人	7,500人	7,500人										
他県の状況	[H28 裸眼視力1.0未満の子どもの割合] 石川県 ○小学生：33.8% (38位) ○中学生：60.9% (39位)					富山県 ○小学生：30.7% (18位) ○中学生：51.1% (9位)					関連事業の有無・ 役割分担 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 子どもの目の健康プロジェクト事業（小中学校） （役割分担） （スポーツ保健課） 県内小中学校で「目の健康を守る3か条（1.姿勢をよくしよう、2.時々、目を休めよう、3.規則正しい生活をしよう）」の実践の呼びかけ等を実施					

子どもの目の健康普及啓発事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング		部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文	
事業主体	県					事務区分 ■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	H30 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度	
事業実施方法	直営				□ 補助金			事業 開始 年度	経過年数			
補助率	—				□ その他			1 年				
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第4次元気な福井の健康づくり応援計画]					
[事業目的]												
<p>福井県の小学生、中学生の子どもの目と歯の健康状況は、全国と比較し低い水準であるため、未就学児が多くの時間を過ごす保育所、幼稚園等での普及啓発を強化し、子どもたちに目の大切さ、近視進行予防のための方法を伝えることにより、目に優しい生活習慣を定着させる。</p>												
[事業内容]												
<p>・ 絵本を活用した普及啓発 527千円 保育所・幼稚園等へのアンケート結果によれば、「目のリフレッシュタイム」の実施をしない施設の理由として「時間がない」「取組方法がわからない」という意見が多かったため、通常の保育業務の一環として、子どもたちにわかりやすく目と歯の大切さを伝えることのできる媒体として、目と歯の健康を題材とした絵本を県内の保育所・幼稚園等へ配布し、普及啓発を促す。 ※対象施設：333施設</p>												
[受益者] 5歳以下の子ども						[想定される受益者数] 約37,000人 ※平成30年1月1日時点の5歳以下推計人口(36,579人)より						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

子どもの目の健康普及啓発事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング		部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	527					527							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		-	-	-	-	527							
2月現計予算額の推移		-	-	-	-								
決算額の推移		-	-	-	-								
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	活用施設数 (目標)	-	-	-	-	(333)	配布したすべての施設において活用						
	実績	-	-	-	-								
活動指標	配布施設数 (目標)	-	-	-	-	(333)	全333施設に配布						
	実績	-	-	-	-								
他県の状況							関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 子どもの目の健康プロジェクト事業 (役割分担) 子どもの目の健康プロジェクト事業においては、保護者に対する普及啓発を実施				

マイナス1歳からの歯の健康プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H32 年度			
事業実施方法	直営、委託														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[第4次元元気な福井の健康づくり応援計画]								
[事業目的]															
より早期からのむし歯予防対策として、妊産婦の無料歯科健診を実施し、乳幼児のむし歯予防対策についての啓発を行う。また、幼児期以降のむし歯予防対策として、フッ化物洗口や歯みがき習慣の定着を図る。															
[事業内容]															
<p>(1) 「フッ化物洗口」実施施設の拡大 (①②は県歯科医師会委託:6,670千円、③④は県:53千円)</p> <p>①保育所、幼稚園等未就学児施設におけるフッ化物洗口の拡大(A) 目標:施設実施率60%</p> <p>②フッ化物洗口の実施が困難な施設では、園児と保護者を対象とした親子歯みがき教室の開催(B) 目標:(A)+(B)=100%</p> <p>③フッ化物洗口推進検討会の開催(ゼロ予算)</p> <p>フッ化物洗口は、特に4歳から14歳までの期間に実施することが、むし歯予防に最も効果が高いことから、小学校入学後も継続して実施できる体制づくりを行い、31年度以降の小学校における実施につなげる。</p> <p>④4、5歳児むし歯有病率調査 公的な統計のない4、5歳児のむし歯有病率を県独自に調査し、フッ化物洗口の効果について評価する。</p> <p>(2) マイナス1歳からのむし歯予防事業 (①は県歯科医師会委託:2,689千円、②③は県349千円)</p> <p>①妊産婦無料歯科健診の実施 目標:受診率30%</p> <p>②母子手帳に、妊産婦歯科健診の受診券を追加</p> <p>③早期からのむし歯予防の重要性や大人の歯科健診の啓発を記載したポスターを作成し、親子が集まる施設や飲食店等に掲示</p>															
[受益者] 4歳～小学生以下の子ども、妊産婦						[想定される受益者数] 約12,500人									
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「8020運動」推進事業 子どもの歯の健康プロジェクト事業 (実績) 妊産婦歯科健診受診率 13.5% (812人) フッ化物洗口施設実施率 37.9% (4,121人) むし歯有病者率は、3歳児・小学生・中学生とも減少 3歳児 H26 17.3%(13位)→H27 17.2%(17位) (-0.1%) 小学生 H27 59.7%(39位)→H28 57.4%(37位) (-2.3%) 中学生 H27 52.5%(44位)→H28 49.5%(45位) (-3.0%)				市町との連携状況		母子手帳交付時に妊産婦無料歯科健診のチラシを配布 市町児童福祉主管課を通じてフッ化物洗口の実施を呼びかけ							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し		見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了							
								<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他							

マイナス1歳からの歯の健康プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営、委託												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	9,760	1,068				8,692	医療施設運営費等補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		-	-	-	-	9,760							
2月現計予算額の推移		-	-	-	-								
決算額の推移		-	-	-	-								
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	むし歯のない小学生の割合(%)	(目標)	-	-	-	-	4~5歳児におけるフッ化物洗口は、歯質を強化し、特に6歳臼歯(永久歯)のむし歯抑制に効果があると言われていることから、むし歯のない小学生の割合によりその効果を図ることとし、割合の増加を目標とする。						
		実績	66.1	68.0	70.0								
活動指標	フッ化物洗口施設実施率(%)	(目標)	-	-	-	(47.7)	フッ化物洗口は、むし歯を予防する効果的な方法として、国でガイドラインを定め、普及が図られている。また、集団で実施することにより、家庭の経済状況に左右されることなく、効率的かつ低価格でむし歯予防対策を推進できることから、施設実施率を高めることで、むし歯有病率のさらなる減少が期待できる。						
		実績	31.2	31.1	37.9								
他県の状況	[H28 むし歯のある子どもの割合] 石川県 富山県 ○3歳児：15.8% (12位) ○3歳児：18.2% (18位) ○小学生：49.0% (16位) ○小学生：47.8% (12位) ○中学生：43.1% (35位) ○中学生：32.9% (7位)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

風しん抗体検査助成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下裕文			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []	—	—		関連する県の計画等		[]								
[事業目的]															
<p>平成25年の風しんの流行により、全国で14,000人を超える風しん患者（福井県20人）と26名の先天性風しん症候群が報告され、平成20年の全数把握調査開始以降、最大の流行となった。妊婦が風しんに感染すると、胎児に先天性の障害が生じる先天性風しん症候群が発生することがあることから、風しんの免疫が不十分な妊婦への感染を予防するため、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するための風しん抗体検査を医療機関で実施する。</p>															
[事業内容]															
<p>先天性風しん症候群の予防のために、妊娠を希望する女性に対して、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するための抗体検査を県内の医療機関において実施し、その費用全額を助成する。 対象：検査を希望する女性のうち、福井県内に居住地を有する者であって、次のいずれにも該当するものとする。 (1) 妊娠を希望している。 (2) 検査の結果、抗体価が低い場合、風しんの予防接種を希望する。 (3) 過去に風しんの抗体検査を受けたことがある者でない。 (4) 明らかに風しんの予防接種歴がある者でない。 (5) 検査で確定診断を受けた風しんの既往歴がある者でない。 実施医療機関は、検査実施者に抗体検査結果を告知するとともに、本人の希望の下、風しんの予防接種を行う。 実施医療機関は、福井県医師会に検査費を請求し、福井県医師会は、実施医療機関の請求を取りまとめたうえで、検査費および手数料を県に請求する。県は福井県医師会に検査費および手数料を支払い、福井県医師会は実施医療機関に検査費を支払う。</p>															
[受益者] 妊娠を希望する女性とその子						[想定される受益者数] 80									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		・全市町の住民課（婚姻届出）窓口で事業の周知、市町広報誌等への掲載 ・一部市町において、県の抗体検査で予防接種が必要と判断された者に対して予防接種費用の一部を助成							
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
全ての市町で事業の周知がされており、検査を希望された方のほぼ全員が予防接種を実施した。			抗体検査利用者見込数を実績に基づき積算し、委託料を縮減した。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

風しん抗体検査助成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	委託												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,425	1,162				1,263	感染症予防事業費等国庫負担(補助)金						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		15,508	4,170	3,475	2,621	2,425	抗体検査利用者見込数を実績に基づき積算し、委託料を縮減した。						
2月現計予算額の推移		6,210	2,682	2,216	2,621								
決算額の推移		2,689	1,649	1,631									
前年度までの 主な増減理由	前年度実績に基づく減												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	低抗体価女性の予防接種 実施率(%)	(目標) 実績	(100) 82	(100) 75	(100) 77	(100)	(100)	検査の結果、低抗体価であった者のうち予防接種を実施した者の割合 予防接種実施者/低抗体価者					
活動指標	抗体検査利用者数(人)	(目標) 実績	(2,262) 463	(389) 289	(500) 288	(376)	(347)	目標：前年度実績による減					
他県の状況	秋田、茨城、兵庫、広島、徳島、佐賀、大分、宮崎、沖縄県を除く38 の都道府県で実施					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下裕文			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H30 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				関連する県の計画等		[—]								
[事業目的]															
<p>平成27年1月の児童福祉法の改正で、小児慢性特定疾病児童に対しては医療費助成のほかに相談支援事業および自立支援員の配置が都道府県の必須事業となった。本県では、従来小児慢性特定疾病にかかる相談ができる場所等がなかったため、自立支援相談所を設置し、小児慢性特定疾病児童等およびその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供および助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を行うことにより自立促進を図る。</p>															
[事業内容]															
<p>福井県小児慢性特定疾病児童等自立支援相談所（総合福祉相談所内）に、小児慢性特定疾病児童等自立支援員を置き、次の事業を実施</p> <p>(1) 相談支援 必要な情報の提供および助言等により、日常生活上の悩みや不安等の解消を図る。（電話、面談（来所・予約制）により実施）</p> <p>(2) 自立支援員による支援 疾病やその治療等による進学、就労等に係る不安や悩み、様々な問題等について、継続的な支援を行い、自立促進を図るため、支援制度の紹介や説明を行うとともに、実際の制度利用に向けた支援、関係機関との連絡調整を実施</p> <p>(3) 学校、企業等の地域関係者からの相談の対応、情報提供 小児慢性特定疾病児童を受け入れる学校、企業等への相談支援、疾病についての理解促進のための情報提供、周知・啓発等を実施</p>															
[受益者] 小児慢性特定疾病児童およびその家族						[想定される受益者数] 787人（平成28年度末患者数）									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		一部の小児慢性特定疾病児童等は身体障害者手帳を所持しており、その場合などでは市町の福祉サービスも活用して自立支援を図っていく。							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
平成27年10月に相談窓口を開設 ・27年10月～28年3月 連絡調整・相談件数 207件 ・28年4月～29年3月 連絡調整・相談件数 385件 ・29年4月～29年12月 連絡調整・相談件数 521件								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	委託												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	4,874	2,437				2,437	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業費国庫負担金						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		-	-	4,872	4,872	4,874							
2月現計予算額の推移		-	2,990	4,872	4,872								
決算額の推移		-	2,990	4,872									
前年度までの 主な増減理由	H27年度は、10月から相談所を開設しているため金額が少ない												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	関係機関との連絡調整を行った件数	(目標) -		(150)	(200)	(200)							
		実績	111	273									
活動指標	相談件数	(目標) -		(150)	(200)	(200)							
		実績	96	112									
他県の状況	全都道府県で実施					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小児慢性特定疾病医療費助成制度 (役割分担) 上記事業では医療費の助成を行い、当事業ではその助成対象者の成人に向けた自立を支援する。					